

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	耐震建物02-02 R0
提出年月日	令和3年1月12日

再処理施設の 耐震性に関する説明書に係る補足説明資料

地震応答解析における
既設工認と今回設工認の
解析モデル及び手法の比較
(安全冷却水B冷却塔)

目 次

1. 概要	1
2. 地震応答解析モデル及び手法の比較	2

1. 概要

本資料は、安全冷却水B冷却塔の既設工認時及び今回設工認時の地震応答解析モデル及び手法の比較を示すものである。

また、本資料は、以下の資料の補足説明をするものである。

- ・添付書類「IV-2-1-1-1 a. 安全冷却水B冷却塔の地震応答計算書」

2. 地震応答解析モデル及び手法の比較

安全冷却水B冷却塔の地震応答解析モデル及び手法の比較を第2.-1表に示す。

第2.-1表 地震応答解析モデル及び手法の比較
(安全冷却水B冷却塔)

項目	内容	既設工認 ^{※1}	今回設工認	備考		
入力地震動の算定方法	水平	■	■	②		
	鉛直					
解析コード						—
構築物のモデル化	モデル					—
	材料物性					①
	剛性評価					—
	減衰定数					—
構築物-地盤相互作用	基礎底面					②
	構築物側面					
非線形特性	耐震壁					②
	構築物側面地盤					
	基礎浮上り					

※1：『再処理施設に関する設計及び工事の方法の認可申請書 第6回申請 資料IV-2-2-4-1-1-1「安全冷却水B冷却塔基礎の地震応答計算書」(9安(核規)第596号 平成10年6月9日認可)』

※2：既設工認時は、水平方向のみ地震応答解析を実施し、鉛直方向は静的地震力を考慮

【具体的な反映事項】(表の備考欄に対応)

①鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説—許容応力度設計法—((社)日本建築学会, 1999)に基づく

②原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991 追補版((社)日本電気協会)に基づく

■：商業機密の観点から公開できない箇所